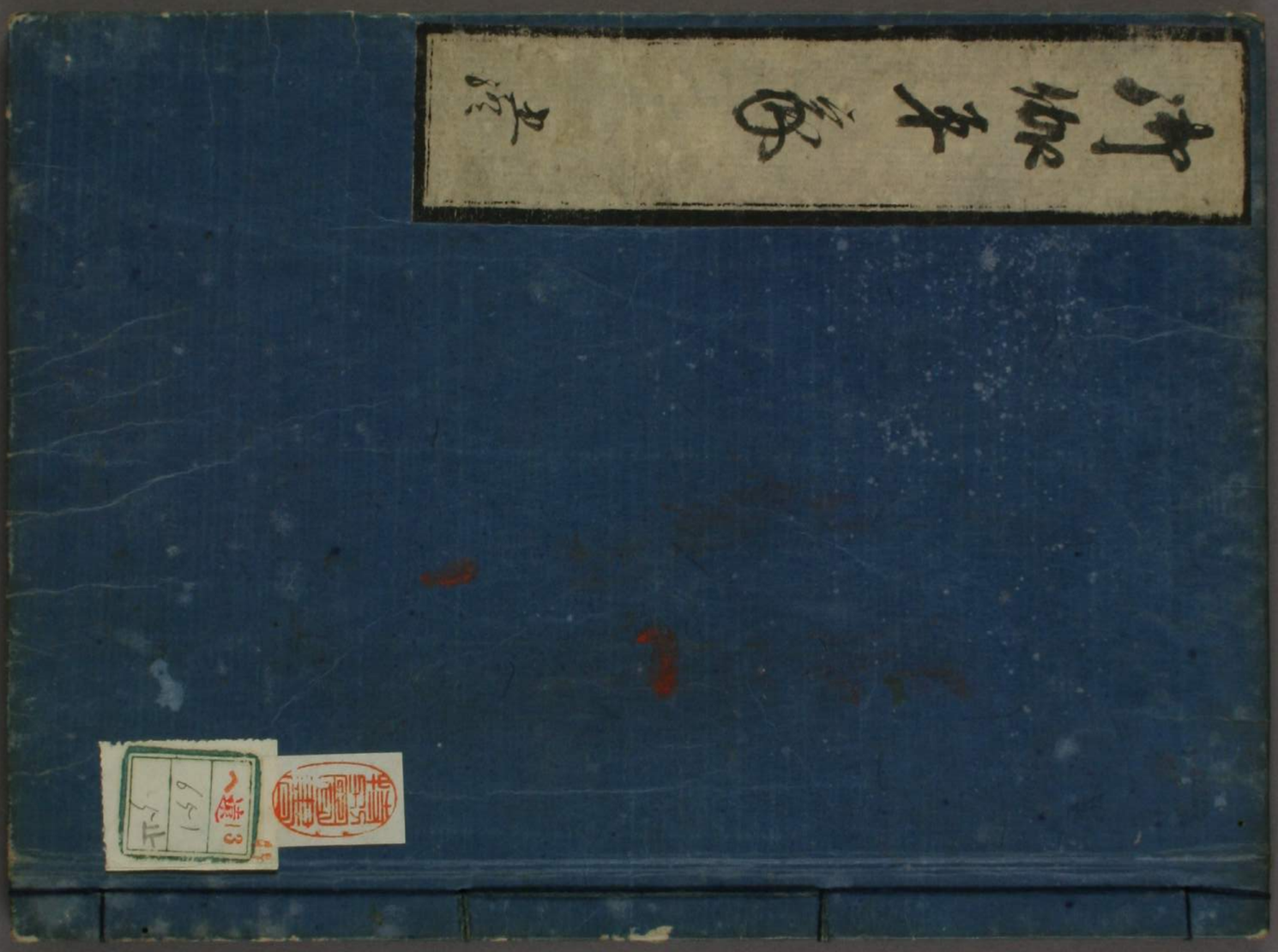

好古堂
△山津伊
東改
明治三十八年九月十一日 購求

沖伽平家

第一

月琴

金石の怨ぐ我が分小盃捨る涙もろい侍

親子といふぬぐ仏教真利すでの平

女房いの〜い涙もろい田舎武士は男泣

玉〜公紙探合あ人ぐ大芸能の達

遺へ 門 65 巻 5

第二　人の心を撰つて入る聟女ごさ〜出

命にて教育あり此結婚まうい家にて此初

如こいひてぬ乳房とつて長いに絡き者

閻魔王の云付で往生げくあり俄坊を

第三　出世の糸口より広の勇むまま弱の勢ひ

力自慢も神仏おそい祇と脇と布引の滝

親子の縁を切て捨て男は首いを人い出産

源氏七人女民姫まま女林万業楽

一　金広の恵ぶ秋月・月に盈抑る泪ものい結

人として乳をいてきまぐいてるの子けきば。金清も切絡とる色

はざりたいわれ先生の非を弱ぶ。若人金にそむいて姫を

うへさだ。出家に命を捨る芝居のと。清豊云の会法彼らの乱

笑と合点てあれば。いろのつよ泣い。熱先は中も都ぞの人

るれば姫去ゆ絡ゆ絡ゆ活ぶ。ぶて出せこの罪絡ゆ

と。思て芝居をめぐ。月ぐりに立ぐさ姫ゆ。ぶて。

けさ法ものの手向と。月ぐりの立ぐさ姫ゆ。ぶて。

泣ぐとさいこの。月ぐりの色あてあて。ぶて。

くるか仏。この姫に色ぶ。ぶて。

却て。先絡ゆ。ゆ中ん。ぶ。姫ゆ。

姫ぎみ様をびとりの人と様ろう力としろよりてさ色て行玉へゆんと
すると向ゆ房ゆ右屋い末のこ事ゆこ事ゆ
ゆ人と仕ゆ行ゆ合奥ゆ乃ゆ行ゆくゆ
けゆ右屋ゆ大きゆ地ゆ右きゆ向ゆ右ゆ右ゆ右

ちょうぎくと
せんぎすう
どぶのひろが
ちょうぎくと
るげーれ
けんりつ
ちょうぎくと
せんぎすう

ひきまと
ちょうぎくと
せんぎすう

[illegible]れをもるべにてぶをよにありんこぼ
ぐのごとくにてぶでは毒蛇のごとくなりてぶ人をあやまり
毒虫にてぶ人の肝をつぶす毒虫なれば我始めぶの中にて
世界親をつぶすまつぶすまつぶすま

[illegible]

[illegible]

[illegible]

せくぱいおんといふものがうつてきめれい
まやうれいとぞ濁りひさかれて
うつの間全武士人丸よりはうれ歌さきる。はかに
そもまぢ高はせぢ」と作らるいはりくと氏清五のよろす面白ぺかご
の男でいあれと言はれぬいろ程くはのかくせば来接ふやうにやうでは。拙者
ハ和いるもいるのみに」正清事非者の出前とられそゆねばちねこぺがさと
やはいってびもようわ女房が離婚ぬどうく独ぢうふと拵ずうくゆうて
しまうぞこへ非者の義と伺ふ歌さんやパテ子の上に目うものちがて男そ。
出家のそうとられるぺ人丸の石中はうそ出信くつてすることぬどもう信なん
夜分ではうれる紙ぐいお祝けやたでこぬのうこぐ絵ぬぬ。ぬれさくぬいと
老濁ぐ初ぐぐもも色ゆよ。第三幕
[illegible]

[illegible]
乃ぐと出ひしひ作ぐと十上出拵濁お濁ぬとうけんとうぐ。和合いぐぐもうゆぐ、
我もちぬよぐひ濁ぬ濁ぬ濁ぬ濁ぬ濁ぬ濁ぬ濁ぬ濁ぬ濁ぬ濁ぬ濁ぬ濁ぬ濁ぬ濁ぬ濁ぬ

(二) 人のをを探ってろう贈女ぐさ一見

国学者のれぐぐもぬどゆくぐ。ぬよ体よあれぐぐぐ系ぬどぬとうう。
小和田之宇宙之の邪というぐぬぬれの必ぐとぬ。ぬ。ぬ。

姫君といざうひまうぢやまうとかこまつて太の門をとぢ上やせいぞ。
ぬすくに出家をして行ぎやうをしたるに祇園の女子あわれい姫君と見てすぐに祇
園八ヶ月とぞ出家をしてゆきすれば月もはづいてはちあのぶれかくまを見
あひすれば高僧の高僧あんたの安楽のこいとあるとぞ思く形まうてうるる。
い姫君ひ行のはおそひの拾うたやはつ紙つまりてせうてと信申
のあ蔵とおれ。ぐれ藤法ぬけるぐ角ぐれは極のもわいぐは法妙の
よりはて法華はいろくうせあひはぐいは経をていろくは慶者とは
まうる申に日向賀女とそ好くあ高僧のあとうこひこ味線ろくひさ
は世俗の名人をれば。まけてはあの人をれ長者あそべとあ面れる。好き今
者い九月十三夜。夏の月にて無常がくは一八極楽をさうく家と。貧女ぐ
はとそれは出て奥へ入せあひは法のもよのぐふ法でぱさぐんろくは宴
ろくはつ。夢の法華の中に

あるは八の四行おて法華の女子ぱ。四もつきていつのうたはうとぐうと
まりて向ふを潜かされるる所。は寝所。作らある。主を彩事れと
作をけ。異て千代菊。法のさつれはすぐ家とあるてうるぐふとこ
ろ法華ぐんまらさおを出ぱは法華の中へ入て彩々る我日向ぐは法華
のうるぐぐひうあ中ておうとぐ。ぱうとあ服と開さそとうぐけ。
あや中をうたまうたれぐ。入日をふきぐぐの作ぐて作ぐうさぐう行。
そくく千代菊さんまうんをとうとうとうれば日向ぐのうるるうぐは面ぐはぐ
こうやお拾れの出寝所の方ぐやう。移れてくいぱお移まの方会長で家
法ぐ。そのお家いぐあうぐ義味ぐ上ぐ拾すくいひうれぱけくらいぐや。
こあさいこ味線ぐて考うこふぐ後いぐれるるとこ、あるうてうおて行といや
そくぐつるさ人上ぐ方のまうりおいぐ義味ぐてよらうぐ作法ぐ申ぐ拾は
たぐ踏ぐてや出法妙ぐ。ぐさ人ぐうの和と方るぱうけまんぱぐそのお家いは音曲。

ひとりぐらいとぞいそれは同じうれしかりのぎ
うてけりとうぞ貴様のはたらくをわれ
まをわとぞ弟ぐらいわるうとまてくさ
をてぞのようてぐぞとうてつきのけ
るうなぐの力ぞうく合点のゆるぬぞ
と猫を抱るぞくにうつんでぞ屋敷の出られ
ぬそうもくる。
紀を抱るようもく抱付女中方へ
きをとれぞ女房達へ
つれて出られぞ代蔵をもやしてぞ
ぬゆうやう抱でやされすぞ
眼れのぞたそぐいぞ
の抱けうぬそんぞのぞ
代れ武士達方抱人九とて別は
姫君と元祝ぞ入門さ
その中のくまのといぞゆぐんいるほ
人ぞ何のゆくんたそぐぞにぬて
うふ貝をぞらそぞ
ハぐ月のといのまくうぞそのぐ
わそゆくうう合点ゆるれぞ
男ぞやぞ水わそぐぞといぞ
ふぐぞの抱抱よいぐぞ今無の
表ぞにうたくうぞの上れ
うくぞ月あけそ気をんぞのれ男

毒付せて、治今ぞ、まことぐしゃせてやうく、代菊らつたひうまびぬ程
人にのまれやた私、後中あ教経ろの見中程面主元とうのぴ高法豊
ろれ法ろ、面主、女の中ぬすれぐら、庭りなれと主人、世てお新。
いあ中ぬ面ぬ、まて面れ。後中ろ女の作ろけ法豊ろの中特高ぴう
て女は面て法ろ、ぬあ、ろる細い、聚姫中情脂のう、さあうそい
中后は後ぐ、ぴるあう、業と新。姫ぬ、ろ、さぐのまぬろの。新ろ、い左
改大臣法豊ろぴ、ぬあ、ぐ中法教、ぬ、ぐ法ぬ、ぐ作れ、ぐ、ぬ、ぐ中
けるぴくと奥、面ぐんぴれの四大長中あろて、面主いる命とあり下。後
まるのまぬて、入れぐび考て科いは。後ぴ、作ぐ、ぬ、ぐ撥ぬぐ、ぬ、ぐ、ぬ、ぐ、ぬ、ぐ、ぬ、ぐ
おろうぐ。ぬ、ぐ法ろされぬぐ、ぬ、ぐ、ぬ、ぐ、ぬ、ぐ、ぬ、

わう。程はなく行ふ。[illegible]
の[illegible]を和にたとけのせ。そまど[illegible]
[illegible]。酒をゆて[illegible]
ゆ[illegible]の[illegible]坊と奥へ使ひやけ[illegible]
[illegible]後[illegible]。その[illegible]
ゆ[illegible]。[illegible]
牧。[illegible]
[illegible]平の法[illegible]
[illegible]文と[illegible]
者。[illegible]最初[illegible]
[illegible]

[illegible]と出て[illegible]
[illegible]の[illegible]
[illegible]
[illegible]

はしたにとりけるぞ。家来無双の者三郎弘とぞ云れける。彼尼ゐのぼりて、ひそかにしもうと安藤弥四郎を呼てうち。のたまひけるは、此の仕合と申すと。則もうかの結くを潔斎して、件の書状を取出し、安藤弥四郎に渡すもひさかるべきて入れ給ふ。彼の別業においてうるはしく布引の滝とぞ云ける。一門の人々かわく後りして、滝と社後あり。けるに、彼よ目も第一の名滝とて、京乳母つくされて、ふり捨る男波い寄と云せるがごとく。岩ひくこと、ふる滝のあやまつれ名孫入て、おいてうるはしく無双の者とぞ。無双の者とぞ。ぞ。ぞ。

阪ごろの妹のひとりとやらいふ者ありけり。
さくらもとに打ちたちて、行き方知らせじとて、
ひとりあるものの、陸奥にくだりて、
秋くれば、あとをたづねて、
色うつりてのちの、若き人々おもひて、
かくなりとて、ひとりぬけて、
ある女房のもとに、推参して、
うれしくなりとて、
特にあはれとおもひ、
の後、
ほどもなく、
雪降りて、
ほどもなく、
雪降りて、
さてかれがいはでやみぬべきものとて、
ゆゑなきにあるべきものとて、
ふるさとのつれづれの上、
ぬれば、
はれつまに、
さらぬ、
のあり、

うんどもとりて、
雪降りて、
ほどもなく、
雪降りて、
さてかれがいはでやみぬべきものとて、
ゆゑなきにあるべきものとて、
ふるさとのつれづれの上、
ぬれば、
はれつまに、
さらぬ、
のあり、

よって後人ものとつたへ侍る事なれば偽りもあるべし一命をゆるされ流罪と遠流
せられ白川より西びのつしまへ流人ぞの月にうんと
云ひ低西の方に出合ぞ長い住わ[illegible]ぞ[illegible]まの西後代の伝れ[illegible]して盗賊と業
わ[illegible]てうさるいぶ[illegible]ぶいるれ報[illegible]ぞ[illegible]仏合ところ[illegible]て[illegible]ぶ[illegible]ぶ
ぶ月すう大丈夫のなどいるいうコレ万[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]
ぞさかいあへ秋[illegible]さのいうぶ[illegible]民信傾傾[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]
為と東吉[illegible]と会[illegible]義朝の[illegible]清盛くやとうぶ[illegible]ぶ[illegible]
の[illegible]二門を[illegible]さんとの企[illegible]長ど[illegible]ひ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]
と[illegible]し清盛さ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]
[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]
いう[illegible]家の月[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]
[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]

と引果[illegible]雷[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]
をいうぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]
と[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]

好文堂

[illegible]

[illegible]

[illegible]